





もりやま景況調査

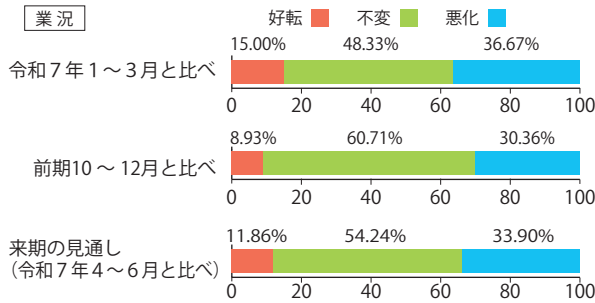
令和8年1月～3月期

※DI (Diffusion Index (景気動向指数)) … 「増加」「好転」企業割合から「減少」「悪化」企業割合を差し引いた数値

DI 指数	30 以上 	10 以上 30 未満 	▲ 10 以上 10 未満 	▲ 30 以上 ▲ 10 未満 	▲ 30 未満 
-------	---	--	--	--	---

業況

前回調査 (令和7年10月～12月期) と比べてやや悪化している。来季もやや悪化の見通し。

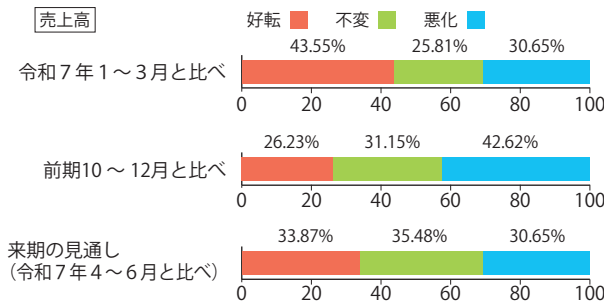


1～3月期動向 昨年同期との比較	全体	▲ 21.7	
	小売業	▲ 46.2	
	製造業	7.7	
	建設業	▲ 25.0	
	サービス業	▲ 23.5	
	卸売業	▲ 20.0	

※業況DI(好転－悪化)は今期が▲21.7で前回調査の▲13.1から8.6ポイント悪化
来期の見通しDI(好転見通し－悪化見通し)は▲22.0で、今期より0.4ポイント悪化見通し

売上高

前回調査 (令和7年10月～12月期) と比べてやや改善している。来季はやや悪化の見通し。

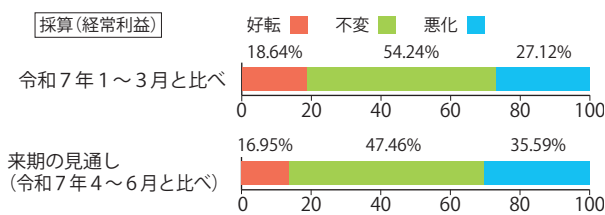


1～3月期動向 昨年同期との比較	全体	12.9	
	小売業	▲ 14.3	
	製造業	▲ 15.4	
	建設業	25.0	
	サービス業	44.4	
	卸売業	20.0	

※売上高DI(好転－悪化)は今期が12.9で前回調査の4.9から8.0ポイント改善
来期の見通しDI(好転見通し－悪化見通し)は3.2で、今期より9.7ポイント悪化の見通し

採算(経常利益)

前回調査 (令和7年10月～12月期) と比べて改善している。来季は悪化の見通し。



1～3月期動向 昨年同期との比較	全体	▲ 8.5	
	小売業	▲ 23.1	
	製造業	▲ 15.4	
	建設業	▲ 18.2	
	サービス業	11.8	
	卸売業	0.0	

※採算DI (好転－悪化) は今期が▲8.5で、前回調査の▲19.7 から11.2 ポイント改善
来期の見通しDI (好転見通し－悪化見通し) は▲18.6で、今期より10.2ポイント悪化の見通し

国・県・市の経済対策、各種イベントや地域のトピック

- ・原材料費の高騰で厳しくなっている。(小売業)
- ・石油のことに、商品が入ってこない(小売業)
- ・値上げの中、プレミアム商品券の利用に期待をしている。(小売業)
- ・商品及び工事部材の仕入れ値の上昇が大きい。価格転嫁は都度しているが追いつかない。(小売業)

- ・イラン戦争により原材料の入手難、値上りの影響大(製造業)
- ・原料入荷(石油系)がタイトになり仕入れ価格の上昇が大きく影響。(製造業)
- ・原油価格、調達が不安定になり、製造各現場に影響が出ている。(製造業)
- ・エネルギー価格が上昇している。(サービス業)

その他、調査結果の詳細については当所ホームページをご覧ください。

<https://moriyama-cci.or.jp/survey/>

